

1月20日は二十四節気の大寒で、この頃から立春にかけてが一年で最も寒くなる頃です。この時期気をつけたいのが、ヒートショックです。ヒートショックとは、急激な温度変化により血圧が乱高下したり、脈拍が速くなる状態です。ひどい場合には脳梗塞や心筋梗塞を引き起こし、命の危険に陥ります。代表的な事例は入浴時です。居間など暖かい部屋から寒い脱衣所へ、さらに寒い浴室に入って血圧が上昇し、その状態で熱い湯船に入ると血圧が一気に下降。というように、血圧が乱高下することによって起こります。温度変化が大きければ大きいほどヒートショックのリスクが高くなるため、脱衣所、浴室、浴槽のそれぞれ

の温度差は小さくしましょう。脱衣所を暖めておいたり、湯船にお湯を張る時はシャワーでお湯を張ると蒸気で浴室が暖まるのでお勧めです。お湯の温度もぬるめの41度以下にするのとより良いでしょう。過去には年間1万9千人の方がヒートショックによって亡くなったと推計されており、その大半が高齢者です。高齢の方がいるご家庭では特に、室内でも寒暖差にお気をつけ下さい。

ヒートショックに要注意!!

脱衣所・浴室・浴槽の急激な温度変化は危険!

対策① 脱衣所を暖めておく

対策② シャワーで浴室を暖めてから湯をためて蒸気で浴室内を暖める

対策③ お湯の温度は41℃以下

日本気象協会 平出 真有
https://tenki.jp/

特別顧問	丹羽 展 (元理事長、日本空港ビルデング顧問) 丸山 博 (元国土交通審議官) 本保 芳明 (初代観光庁長官)
理事長	大島 慎子 (筑波学院大学学長)
副理事長	岡村 進 (元小田急トラベル社長) 横山 善太 (元日本航空副社長) 須田 寛 (東海旅客鉄道相談役)
事務局長	杉 行夫 (理事) 事務局次長 堤 りり (理事)
支 部 長	須田 寛 (中部) 魚住 隆彰 (北陸) 長尾 亜夫 (九州) 岩田 弘三 (神戸) 梅原 利之 (四国)

団 体 会 員	アイエスカンパニー 医療法人社団同友会 一般財団法人NHK インターナショナル 株式会社えんいしゃ 小田急電鉄株式会社 関西電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 社団法人くらしのサーチセンター 株式会社グリーンキャブ 株式会社耕人舎 株式会社サマサタバサジャパンリミテッド 三普旅行社有限公司 四国旅客鉄道株式会社 新菱冷熱工業株式会社 住友電設株式会社 セントラルリーシングシステム株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社 大成有楽不動産株式会社 株式会社丹青社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタンツ 中国電力株式会社 中部(東海・北陸・信州)広域観光推進協議会 東海旅客鉄道株式会社 東急建設株式会社 東京急行電鉄株式会社 財団法人東京観光財団 西日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支部 日本空港ビルデング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 羽田旅客サービス株式会社 株式会社パロクジャパンリミテッド 広島電鉄株式会社 福岡空港ビルディング株式会社 北海道空港株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルメトロポリタン マイナミホールディングス株式会社 株式会社まるまんフィオーレ 三菱電機株式会社
---------	--

特定非営利活動法人《NPO》
JAPAN NOW
観光情報協会

東京都新宿区西新宿 2-7-1
小田急第一生命ビル5F5 〒160-0023
電話 03(5989)0902
FAX 03(5989)0903
E-mail info@japannow.org
HP www.japannow.org

発行人: 大島 慎子 (JN協合理事長)
編集長: 北村 嵩 (JN協合理事)
発行部数: 3,000部
主な配布先: 会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

今年の訪日外客数は前年比 19.3% 増の 2,869.1 万人だった。1,000 万人を突破したのは 2013 年の事で、4 年間で 3 倍近く増加したことになる。観光客の急増に伴い、交通機関の混雑など、住民の不満も高まっている。一般的に観光客の増加によって引き起こされる観光公害は、観光資源の毀損、生活環境の破壊、住民気質への悪影響、住民間の対立助長などが考えられるが、近年、「オーバー クラウド ディス ティネーション」すなわち特定観光地への過剰な集中から発生する住民との摩擦が問題化している ▼ 昨年、京都市で宿泊した訪日客は 4 年前より 3 倍に増えたという。市バスが定時に来ない、来て乗れないなど住民からの苦情が多く、市は 1 日乗車券を値上げして地下鉄に誘導するといふ。又、約 30 年続いた東山区の夜桜ライトアップも混雑による事故を警戒して昨春から中止になった ▼ 鎌倉市では日本人も含めて年間 2,000 万人を超える観光客が訪れ、交通機関の混雑は慢性化しており、17 万人の住民は、住宅街の道路の真ん中や墓地に入り込んで写真撮影をする観光客のマナーに不満の声を漏らしている ▼ 京都市、鎌倉共にピーク時の自家用車の市内乗り入れの制限や、交通機関の住民を優先乗車させる仕組みなどを検討するといふことだが、政府目標の 20 年 4 千万人達成するには、観光客の地方への分散化や日本に慣れたリピーターの増加など受け入れ側のあり方などを考える時期が来ている。

(北村)

NPO 法人 **JAPAN NOW** 人と都市・観光の地球時代を市民が支える
観光情報協会
Non-Profit Organization JAPAN NOW Tourism Information Association.

東京都知事が認証した「都市・環境・観光 NPO」が発信する隔月刊情報誌

第 117 号 発行日 2018 年 1 月 30 日

Contents

- ・年頭所感 1
- ・2017年訪日外客数 前年比19.3%増 1
- ・年頭にあたって 2
- ・観光列車をみる②ノショパンの世界 3
- ・中東鉄道～歴史的建造物群調査に参加 4
- ・12月8日 / 石内都集大成 5
- ・アメリカこぼれ話 53 / ザルツブルク復活祭音楽祭 6
- ・関西編⑥ / 観光立国セミナー 7
- ・気象と天気の話 / 編集後記 8



【綾部山梅林2018-かつたまつり】写真引用: <https://kabegamiphoto.com/event/taibunoyayabeyama.html>
西屈指の梅の名所、綾部山梅林(兵庫県たつの市)はひと目2万本、海の見える梅林としては西日本一とも言われ、高台から見下ろす梅林と瀬戸内海の風景は絶景。今年の観梅期は平成 30 年 2 月 11 日～3 月 21 日。早咲きの紅梅が咲き始め、やがて白梅が満開となる。観梅は有料のため、料金等要確認。

2018 ■■■■■ 年頭所感 ■■■■■



JAPAN NOW 観光情報協会
理事長 大島慎子

2018 年は戌年であり、干支にちなんだ相場格言に「戌笑う」というのがあります。景気は上向きといわれていますが、世界に目を転じれば異常気象から東アジアの諸問題などリスクが顕在化する可能性があります。縁起のよい年と安心してほしくないようです。

観光業界においては、訪日外国人数が3千万人に迫り、本協会の設立の機となった観光立国宣言と関連業界の皆様が努力が実ったといえます。

一方、質の高い観光体験を我々が提供しているかどうかは、問題です。

昨年 30 年ぶりにベネチアに行き、環境が昔と全く変わらず、公共交通機関が無く、ホテルもバリアフリーには程遠く、価格も高い観光客を集めている理由は何か、考えさせられました。

インスタグラムや SNS、爆買いで観光客が一過性の感激を得るのも良いのですが、深い感動を与えてリピーターとなるために、観光資源を見直す活動を行いたいと思います。

セミナーや「城と街道(みち)」の出版企画など更に充実していく予定ですのでご支援をお願いいたします。

2017年 訪日外客数は前年比19.3%増の2,869.1万人!

旅行消費総額は4兆円超え前年比17.8%増も一人当たり消費額は減少

JNTO の発表によると、2017 年の訪日外客数は前年比 19.3% 増の 2,869.1 万人で、5 年連続過去最高となった。しかし、伸び率は 2014 年 29.4%、15 年 47.1%、16 年 21.8% から 19.3% に縮小した。一方、外国人による旅行消費額も過去最高の前年比 17.8% 増の 4 兆 4,416 億円となったが、一人当たり消費額は前年より 1.3% 減の 15 万 3,921 円となり、爆買いピークの 2015 年から 2 年連続で減少した。平均滞在日数が全体の半分以上の 4.3 泊に留まる韓国からの客が大幅に増加したことが影響したとみられる。クルーズ船寄航数の増加や航空路線の拡大、査証要件の緩和に加え、これまでの継続的な訪日旅行プロモーションなど様々な要因が訪日外客数の増加を後押ししたと考えられる。

市場別では、主要 20 市場全てで過去最高を記録した。中でも最多は中国で前年比 15.4% 増の 735.6 万人に達し、韓国も同 40.3% 増の 714 万人となり、両国共に全市場で初めて 700 万人台に達した。これに台湾(456.4 万人)、香港(223.2 万人)を加えた東アジア 4 市場は、前年比 21.9% 増の 2,129.2 千人となり、訪日外客の 4 分の 3 近くを占めている。

「2020 年訪日外客数 4,000 万人、旅行消費額 8 兆円」という政府目標は順調に推移しているようだが、年を経るごとにインバウンドツアーの内容が変化してきている。団体旅行から個人旅行へのシフトが加速し、リピーターが増加してきた。クルーズの増加で宿泊施設を使用しない客が増え、民泊使用層が拡大している。消費もモノの購入より体験を重視するコト消費への関心が高まり、ナイト・アクティビティの拡大、充実が求められる。我が国のインバウンド業界も構造改革が必要な時期だろう。

JN協会特別顧問・空港施設代表取締役社長 丸山 博
観光立国は地方から

昨年の訪日外国客数は、2900万人に迫る勢いでした。2020年、4000万人という目標も射程に入ってきました。4000万人の目標達成には、リピーターの増加は、欠かせません。リピーターを呼び込むためには、東名大を結びいわゆるゴールデンルートだけでなく、日本の多様な地方の魅力を訴求することが、肝要です。日本は、亜寒帯から亜熱帯まで南北2800 kmに及ぶ島嶼国です。この特性が、多様な自然をもたらししました。私が親しくさせていただいておりました在京前フィンランド大使は、北海道の雪はスキーにとって世界最高、沖縄の海も世界最高と絶賛していました。日本列島の豊かで多様な自然は、訪日外国人にも高く評価されているということです。2年前、フィンランドはヘルシンキと日本を結ぶ成田、中部、関西に次ぐ4番目の地点として福岡を選びました。乗客の大半は、九州の温泉などの魅力を知る欧州人です。地方に外客を呼び込むためには、地方空港に直接乗り入れていただくことが不可欠です。国土交通省では、26の地方空港を外客受け入れの重点空港として指定するなど、地方での外客受け入れ態勢の強化を図ろうとされています。私も多少力ですが、空港に必要な施設を提供することを使命とする役割を担うものとして、この動きを後押しできればと願っています。

JN協会副理事長・東海旅客鉄道(株)相談役 須田 寛
年頭にあたって

新年おめでとうございます。各位の益々のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。昨年は内外の観光が一段と前進しました。訪日外国人客も2,800万人をこえたこととみられ、邦人観光客も地域差はあるものの少しずつ増加してきました。大都市圏や主な観光地では連日内外の観光客で賑わっています。観光客の急増によって様々な課題も出てきました。例えば大都市圏を中心に宿泊需給逼迫、異常な交通混雑の発生等でありました。今年はこのような課題を解決して真の「観光立国」を目指す貴重な年としなければなりません。まず、観光インフラの充実があります。6月から民泊の解禁が行われますが、これが真の宿泊需給緩和につながるよう(宿泊室数の増加、とくに稼働率の低い旅館の活性化も含めて)新しい宿泊事業秩序を構築しなければなりません。民泊、旅館、ホテルの規制を極力統一して公正な競争市場を実現する必要があります。次に発生が予測される大規模災害(とくに地震、津波)発生の際の観光客の安全確保への各観光地における対策の確立であります。とくに観光地に発生する大勢の帰宅困難者対策構築が急務であります。東海地震が予測不能と言われるようになった今、全国各観光地が今一度観光客の災害時の安全確保を総点検する必要があります。そのことが日本の観光についての国際信用を獲得する一助につながるかと考えられます。以上の観光に関わる緊急課題を今年こそ適確な手法で解決していくことを新年にあたって決意をあらたにする次第であります。

JN協会特別顧問・初代観光庁長官 本保 芳明
国連世界観光機関アジア太平洋センター代表
首都大学東京特任教授

明けましておめでとうございます。昨年を振り返ってみますと、観光の年と言っても過言でないほど、観光の話題がメディアを賑わしました。政府の取組だけを見ても、国際観光促進税の創設、いわゆる民法法制の整備、通訳案内士制度の大規模直し、ツアーオペレーターに関する規制導入、クルーズ船受入のための施設整備の促進等大変盛り沢山でした。安倍政権の観光への並たならぬ力の入れ方が良く分かるころです。実際、インバウンドの急成長は、アペノミクスの最も輝かしい成果であり、筆者も、安倍政権なくしては、今日のインバウンドは無いと思っています。更なる観光の成長のためには、今後も、政府が果たすべき役割は小さくないと思います。したがって、政権が今の姿勢を維持することを期待することは言うまでもありません。しかし、同時に、政府の方針、観光の政策上の優先順位が変わる時代がいずれ来ることは間違いなく、これに備えることが大変重要だとも思っています。即ち、完全に民主導の自律的な成長が可能な体制へのシフトを常に頭の片隅に置き、準備を開始するべき時期に来ているのではないかと考えています。成熟した観光先進国においては、政府の役割は限定的であり、日本も遠くならずその方向に進みます。観光先進国の実現のため、そして、観光の果実を地域、民間が着実に享受できるように、地域、民間の一層力強い歩みを期待する次第です。

JN協会副理事長(元 日本航空 副社長) 横山 善太
旧正月「笑うてんか」

新春に年賀状では春到来を告げる便りの如きであるが、旧暦の正月の節節である、旧正月を盛り上げているのは中国です。日本でも大阪では昔から「立春」節節を利用して本来の意味で「大阪に春が来た」と新聞の夕刊が「立春」の日に寄稿する習わしがあります。その年によってテーマを仕立てます。小生は1994年の立春、開港40周年の年でしたので、服部関空本社社長、並びに航空3社の支店長(ANA,JAS,JAL)が各々客乗務員を伴って通天閣奥さんに召集されることになりました。鉄塔から「豆掻き」をすると云う仕掛です。「立春の日」朝8時、鉄塔5階事務所に行くに殺風景な事務所に緑の上っ張り、靴下サンダルのオバちゃんに「お早うさん、ほんならこれ着てんか」と云うて迎えられる。紙製陣羽織に着替えるのであります。主要な新聞、雑誌、テレビのカメラマンが揃うと役者は服部さんと美型の客乗務員1人。たまたまJALが一番笑顔。笑顔と人柄のANA嬢は外れ、勿論3支店長は単なる観客。展望台から更に階段を上り水槽タンクのあたりからみぞれ模様の寒空に豆を掻く。その大空に舞う風景が「大阪に春が来た」と云う夕刊開港30周年の目印になるのだ。夕刊記事は、「通天閣の麓では近郷の善男善女が豆掻きに興じた」とあるが実体はもっと面白い。この辺は必須須東、大阪の典型的な下町。善男善女とは殆どがこの日みぞれで賑わった方々及びこの人たちに食を揃う大阪のオバちゃんである。小生が段ボール箱から一升ずつに落花生の束を掻くのであるが、「あ！それオバちゃんダメや」と云うてもそんなこと構わずロープを超えてショッピングバッグでどんどん持ち去るのです。全「笑うてんか」

元日本航空副社長 横山 善太

プロ野球各球団は、新春に優勝祈願 初詣を行うが、阪神タイガースでは毎年西宮の軍神広田神社に参拝する。小生大阪時代は阪神球団の熱意を信用せずお祈りをしたものです。実は広田神社拝観(写真:廣田神社Webサイト)背景に嬉しい話があるので今日はまずその紹介を致します。佐賀県唐野温泉での事です。老舗の旅館が民事再生法により復活した例があり、東京の大新聞取材の折、食事時に「虎の子」と命名された酒を振舞われ、由来をお尋ねしたところ、「この酒は明治時代からの古酒。井手酒造さんとは、この温泉町の作り酒屋さんです」との事でしたが阪神タイガースとは何の係りも無かつたそうです。その後阪神タイガースのお陰で評判が広がりましたので、今では新酒は必ず西宮広田神社さんに奉納しているそうです。嬉しではありませんか! 扱、新年ご挨拶文が長くなりましたが、日本シリーズ第6戦西武球場。西武はローテーションからして負けられない状況からも東尾投手の番、それがなんと高橋直樹投手! 長身ですが横手投げ、阪神主力の左打者(掛布、バース等)が有利と思えます。



広田神社拝観(写真:廣田神社Webサイト)

第138回 観光立国セミナー 12月13日 海事センター

「ケニア国立博物館とケニアの観光資源など」
日本大学芸術学部写真学科講師 服部 一人氏

服部さんの本職はいわゆるフリーカメラマンで、写真家、映像制作の分野で活動されています。JICAの青年海外協力隊に参加したのがきっかけで、1993～96年にケニア国立博物館で勤務された。写真や映像を多数使用して、赤道直下の国ケニアや、勤務されたナイロビ(1,200メートルの高地で意外に涼しい)の説明から始まり、ケニア国立博物館の歴史や展示物の紹介し、解説されて、後半には多様なケニアの観光資源や、多民族国家で40以上ある民族とその特徴についての話を作された。国立博物館は、原人(ホモエレクトス)発掘調査の資料が有名であるが、「野生のエルザ」の著者ジョイ・アダムソン、59か所ある国立公園、動物保護区が有名であるが、海、山、湖、高原、サバンナなど多様な自然環境に恵まれている。民族ではマサイ族が有名であるが、アラブ・イスラム系は海岸沿いに集中して居住しており、少数ながら富裕層が多いインド系も住んでいる。宗教的には約8割がキリスト教徒で、残りは海岸地域に住むイスラム教徒である。

試合は予測通り初回に6番長崎(ベテラン左打者)の満塁ホームランで決着、阪神が日本一に成れたのです。そこで前回の続き、吉田監督も不思議に想っていたのでバリエーションの機会(夫人と理子ちゃん、東尾は日程が合わず不参加)に真相を伺ったところ次の様なお話でしたとの由。あの頃監督から東尾話があると呼び掛けられていたそうです。そこで奥様が手を差し伸べられて監督に話があるのなら是非貴方の方から伺ってスッキリし気持ちで(第6戦に)登板したら、と進言したのですが「広岡監督は、話しはシーズンが終わってからしよう」と、広岡さんの考えは決まっていた様です。阪神に勝たせたかったのです。此の分析は小生だけでなく、それこそ吉田監督も納得しています。長くなりますので手短かに纏めますと、広岡選手は元々広島地方野球無名県立高、呉三田出身の阪神ファン(広島球場創設前)名門早稲田大学名内野手を経て巨人で活躍。選手指導に厳しく理論家で川上と相性が良くなかったと言われていました。早稲田後輩の中村勝広(千葉県立成東高)を可愛がっていました。東京に多いインテリ阪神ファン(?)に同調する様ところが有り「武士の情け、ではないか」と思っています苦勞人なのでしょう。昭和まではこう云う人が居たのです。

第139回 観光立国セミナー 1月19日 海事センター

「モーツァルトは生命の輝き」
日本モーツァルト協会会員・元京王電鉄取締役・当協会会員 堀井 章氏

堀井さんは若い頃からモーツァルトの音楽に魅せられ、学生時代に日本モーツァルト協会の会員となり、K532の会員番号を所持されています。音楽との出会いは、疎開先の新潟に手巻き蓄音器があり、「美しき青きドナウ」を聞いた時から始まり、戦後は名曲喫茶巡りでモーツァルトの音楽に惹かれました。モーツァルトは天才として知られ35歳で亡くなるまで626曲を作曲した。子供の頃から、プロデューサー役の父と共にロンドン、パリ、イタリアなどへ馬車で旅をし、各地の一流の人々と交流して刺激を受け、作曲、演奏活動を続けた「音のコスモポリタン」である。モーツァルトの音楽を聴くと心が優しくなり、健康にも良いと言われる。小林秀雄、東山魁夷、中島ゆきなど多くの芸術家や文化人に刺激や感銘を受けてインスピレーションを与えた。堀井さんは、没後200年記念に発行された全15巻のモーツァルト全集の販売にも携わり、自身も全曲を開かれて作品目録を作成され、ベスト20、ベスト100を選ばれている。会場で、堀井さん一番のお薦めのK299「フルートとハーブのための協奏曲」長調を流しながら、健康を損なわせるストレスを解消するにはモーツァルトが役立ち副交感神経を活性化させると話され、喜多夫「小原酒造」ではモーツァルトを聴かせて育った酒が品評会で高い評価を得ていると紹介された。



元 JTB 取締役 北村 嵩



アラン・ピンカートン
写真: Chicago History Museum

探偵といえばアサー・コナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」、ダシール・ハメットの「サム・スペード」、レイモンド・チャンドラーの「フィリップ・マーロー」など、ミステリー小説で活躍する、情報や証拠をもとに推理を行い、事件を解決する名探偵を思い浮かべる人も多いと思う。しかし、実際の「探偵」という職業を有名にしたのは 1850 年にシカゴで探偵社を設立したアラン・ピンカートンであった。

そもそも探偵という職業は、19 世紀中頃、ヨーロッパで始まったといわれている。産業や商業が発展し、社会が複雑化して個人で情報を収集するのが難しくなり、代行する職業として探偵が誕生したのである。世界初の探偵事務所は 1833 年にフランス人のフランソワ・ビドックが設立したもので、当時の仕事は密偵、スパイに近しいものであった。

アラン・ピンカートンはスコットランドのグラスゴー生まれ。1850 年、発展途上であった中西部シカゴで、弁護士エドワード・ラッカーとともに会社を設立した。当時、急速に発展中の鉄道会社を中心に、実業家たちが雇用者を厳しく監視する必要性が高まっていた。1860 年の大統領選挙の当選したリンカーンは、翌 61 年 3 月ワシントンでの就任式に出席するに当り、奴隷制度を巡る南北対立の激化で暗殺の噂があったた

め、同じイリノイ州のピンカートンに身辺の護衛を依頼した。そのピンカートンがワシントン手前のボルティモアで暗殺計画があるとこの情報を入手し、大統領就任者の暗殺を未然に防ぎ、その存在がアメリカ中に知れ渡った。その結果、同社は大実業家に雇われて、労働者の組合運動などの活動を阻止する仕事の依頼が多くなり、ミステリー小説の探偵たちのイメージと大層違った。労働組合との対立、スト破りなどのマイナスのイメージが絶えずまとわりつくこととなった。

最も悪名高い例が、1892 年にペンシルバニア州のカーネギー製鉄会社で起こった「ホームステッド・ストライキ」である。アンドリュー・カーネギーが海外旅行中、待遇改善を要求して労働組合がストライキを実行した。留守を預かったヘンリー・クレイ・フリックが労働者を工場から排除するスト破りを計画し、ピンカートン探偵社に 300 名の探偵の派遣を要請した。双方の衝突で 11 名の死者が出て、治安回復のために、州兵 2 個旅団が召集された。その他にも、ピンカートン探偵社は鉄道、炭鉱、鉄鋼、木材などのストにかかわった。又、変わったところでは、西部劇映画でおなじみのジェシー・ジェイムスなど西部のアウトローの追跡などの仕事も行っている。

尚、「マルタの鷹」など名作ミステリーの作家ダシール・ハメットは、7 年間ピンカートン探偵社で働き、探偵の経験がある。



写真: https://en.wikipedia.org/

ザルツブルク復活祭音楽祭 2018

インスブルック市観光局・ザルツブルク市観光局
日本事務所代表 モラス 彩子

ザルツブルク復活祭音楽祭は、今年生誕 110 年を迎えるヘルベルト・フォン・カラヤンによって、1967 年にザルツブルクで開催される一連の音楽祭を更に補足するカタチで創設されました。創設当初からカラヤンの構想には、ベルリン・フィルの演奏によるオペラ作品の上演がありました。10 日間であるザルツブルク復活祭音楽祭は世界でも屈指の珠玉のフェスティバルとして定着し、毎年一つのオペラ



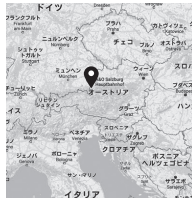
主会場となるザルツブルク祝祭大劇場 © Tourismus Salzburg GmbH

と多くのコンサートが開催されます。2013 年からはベルリン・フィルに代わり指揮者ティエレマン率いるシュターツカペレ・ドレスデンが音楽祭のオーケストラの役割を担っています。

2018 年は最も人気のある音楽劇の一つに数えられるジャコモ・プッチーニの名作「トスカ」が上演されます。主役のトスカはアニャ・ハルテロスが演じます。ハルテロスは 2017 年にリヒャルト・ワーグナー作「ワルキューレ」のジークリンデ役で復活祭音楽祭デビューを果たし、2015 年には国際オペラ・アワードの女性歌手部門賞を受賞しています。2018 年度のヘルベルト・フォン・カラヤン賞は、2 つのコンサートを予定している注目のチェロ演奏者ソル・ガベッタに授与されます。



アニャ・ハルテロス
© Marco Borggreve



ザルツブルク位置 : google マップ

www.osterfestspiele-salzburg.at

“観光列車”をみる ⑦

JR 東海相談役 須田 寛

—— 鉄道と観光とのかかわり ——

- ① 鉄道は観光地へのアクセス手段
- ② 鉄道は観光への付加価値を高めるもの
- ③ 鉄道への乗車それ自体が観光対象(観光資源)

最近各地の鉄道に続々と登場しているいわゆる観光列車はこのうち③の役割が中心で車内の食事、スイーツ等を楽しむ趣向のものが多い。今回は上記②へのかかわりが大きい観光列車を紹介したい。即ち車内の食事よりも沿線の景観を心ゆくまで味わえるいわば「景観観光」列車ともいえるべき以下の列車がそれである。

①「黒部峡谷鉄道」 (黒部峡谷鉄道 宇奈月—樺平間)

有名な黒四ダムで代表される黒部川の水電開発のダム工事等の機材輸送のための鉄道を観光鉄道に活用した例で昭和 28 年から冬季を除いて上記の約 20km の区間を約 1 時間 20 分で運行している。前身が機材輸送鉄道であるだけに線路も特殊狭軌(軌間 762mm)という珍しいもので電気機関車けん引の「オープン」客車と快速座席のある「デラックス」客車から成る小型列車であり、車内での飲食サービス等はない。しかし 41 のトンネル、21 の鉄橋で、けわしい黒部峡谷を縫って走る。まさにスリルに富んだ目線からの沿線の渓谷美は乗客を魅了する。宇奈月ダムの景観、古城の趣のある発電所等沿線の施設もすばらしい景観を形成する。しかし何といても水面上 60m にかかる後曳鉄橋、ねずみ通し大絶壁(猫又駅付近)等は黒部峡谷ならではの美点であろう。新緑や紅葉シーズン等ではトンネルを出るたびに車内に歓声があ

がるほどである。立山黒部アルペンルート等外国からの観光客も集まる北陸観光のメインルートに大きい付加価値を加える観光列車といえよう。

(2)「いさぶろう、しんべい」

(JR 九州肥後線 熊本一人吉—吉松間)

これまで、鉄道三絶景といわれてきた車窓景観の名所がある。第一は篠ノ井線の奥谷峠から「田毎の月」で有名な千曲川沿岸を見下す景観、第二は線路改良工事で線路が切替えられてしまったので今は変わったが、北海道根室線の狩勝峠の景観、第三が九州肥後線の矢岳—真幸駅間の矢岳トンネル南口付近からの椋島をバックにした加久藤平野の景観の三つである。この第三の絶景を味わえるのが景観観光列車「いさぶろう、しんべい」である。列車名は肥後線建設に貢献した先人の名前に因んだものという(後藤新平、山縣伊三郎)。運行区間は熊本—八代—人吉—吉松間(1 日 2 往復あり 1 往復は人吉、吉松間の快速列車で座席指定制である(列車回数の少ない区間をカバーするため数席が自由席も設定しているのが珍しい)。八代、人吉間は唐戸川沿いの景観が車窓にひろがり列車からの川下りの趣も漂う。人吉、吉松間は急勾配区間で勾配途中にスイッチバック方式の駅(大畑、真幸)や珍しいループ線区間(大畑付近)もある。矢岳トンネル南口付近の三絶景の景観等みどころの区間では途中停車で写真撮影タイムをとったり徐行して景観を存分味わってもらう等観光列車ならではのサービスも提供され



景観観光に徹した列車といえよう。

「中央右が大畑駅」
写真提供: 交通新聞社

COLUMN

シヨパンの世界

ポーランドが生んだ偉人と言えば、地動説を唱えた天文学者コペルニクス、ノーベル賞を 2 度も受賞した物理学者キュリー夫人、近年ではローマ法王ヨハネ・パウロ 2 世と言われる。しかし、今日までポーランド国民の誰からも愛され慕われている人気ダントツは、「ピアノの詩人」と呼ばれた作曲家フレデリック・ショパンを描いていない。

ポーランドの街を歩けば、耳を澄ますとどこからともなく甘美な調べが聞こえてくる。市電の停車場では「ノクターン」の BGM が流れてくる。国中に溢れるショパンの名曲に国民は夢見心地にさせられるのだ。

20 歳でポーランドを離れてから終生母国へ帰ることがなかったショパンの堪えがたい望郷の念を察した姉が、遺体はパリ郊外の墓地に埋葬されたが、たつての希望でショパン本人の心臓だけは取り戻し、ワルシャワ市内の聖十字架教会の本の下に埋葬した。それが今では人気観光スポットのひとつにもなっている。

旅行者の多くは、ポーランドを去る最後の夜をショパンへの想いを膨らませるピアノ演奏に感動し、ショパンに酔いしれてショパンの国に別れを告げる。だが、空港でもショパンへの想いは断ち切れない。何と空港名まで「ショパン空港」と言うのだ。

かつて「水色のワルツ」で知られた作曲家高木東六さんを、横浜市内鶴見区のご自宅から藤沢市内のコンサート会場まで車で送迎したことがある。車中で高木さんから、いつか一度はショパンの故郷ポーランドへ行きたいので、その時は案内してもらえないかと何気なく頼まれたことがある。当時社会主義国だったポーランドは極度の財政破綻状態に陥り、デモが頻発して国内は揺れに揺れていた。いずれ国が落ち着いたらご案内しましょうと約束したが、その約束を果たせないうちに高木さんは彼岸へ旅立たれた。結局あの話は口約束に終わり、あれほどショパンに思いを寄せていた高木さんの希望を叶えてあげられなかったことが、今も悔やまれてならない。

エッセイスト 近藤 節夫

中東鉄道(旧東清鉄道) 歴史的建造物群調査に参加して

観光学博士 寺前 秀一

哈爾濱に行ってみたくて思っていた。高媛氏の「観光の政治学」を読んで、戦前の日本人男性は「哈爾濱の裸踊り」を見ることを憧れていたことを知っていたからだ。11月に大連にある東北財形大学の中東鉄道関連歴史的建造物群調査団に参加することができたことは幸運だった。哈爾濱をハルビンと書くとも味も素っけもなくなるのは漢字文化圏の人間だからなのだろう。零下20度は寒く、スマホまで凍り付けて作動しない。

19世紀末無人の地にロシア人が清国との秘密協定により中東鉄道を敷設した。ハルビンは、人口1千万人、中国14番目の大都会であり、歴史的建造物群保存の動きが急速に進んでいる。欧州と同じく石の街であり大きい。社宅、鉄道病院、鉄道員倶楽部、ホテル等古い建築物はすべて鉄道関係のものである。松花江鉄橋は新幹線橋の完成と共に歩行者橋として観光資源化していた。

鉄道博物館を見る。鉄道は政治そのもので解説も政治的にならざるを得ない。偽滿洲はともかく、「満鉄」という標記などもさりげなく入れてあるが、むしろ観光資源としては刺激があっていいのかもしれない。これらもまた時代とともに変わってくる。ロシア人技師のもと中国人労働者が鉄道建設をしているジオラマが飾ってあった。アメリカ横断鉄道も中国人苦力の労働のためのものである。

ハルビンに三泊して、満洲里に向かう。航空機から琵琶湖の4倍近くある、凍り付いた呼倫湖を見る。その先にはノモンハンもあるのだろう。モンゴルの学者が、歴史観が変わればスターリンググラードの攻防戦以上に注目されるのだがと、どこかで書いていた。満洲里は線路を挟み、南側は鉄道関連の歴史的建造物が数多く残っていたが、肝心の旧駅舎は10年前に新しく建て替えていた。北側はロシア風というか、近代都市である。うら悲しい森繁久彌の満洲里小唄のイメージは吹き飛んでしまった。

行きも帰りも中国機、しかも乗客の大半は中国人であり、日本人乗務員はいなかった。国内線だけでも日本の六倍の規模を誇っている中国の航空輸送量は、いずれアメリカを追い抜くに違いない。

翌日満洲里から24時間かけて鉄道でウラジオストク手前の綏芬河へ向かう。チチハル・ハルビン間は新幹線が並走していた。

入札前にセキュリティチェックを受ける。切符は实名制で、ID番号も記載。寝台車に乗ると乗車券を車掌に渡し、引き換えカードを受けとる。降車時にまた引き換える。途中駅でホームに降り立つという習慣がなく、エキナカビジネスという発想はここにはない。車内販売である。寝台車は懐かしい三段ベッドであるが、カーテンはついていない。今回は中・上段に若い女性がいたが、慣れたもので、ズボンをはいてきており、はしごを器用にのぼっていた。

中国ではFACEBOOK、Google、Line等が使用できない。今回は百度地図をインストールしてきた。鉄道車内にもWIFIがセットされていた。調査団の連絡はすべてWECHATであった。それよりはバッテリーの方が絶えず気になる。綏芬河についてまずしたことは充電であった。綏芬河は2013年の数字で一人当たりのGDPが2万ドル、豊かな町である。ロシア国境に行く。兵士がおしゃべりしているところを写真に撮っていたら、同行の学生が心配して早く戻るように言ってきた。日本人がスパイでつかまったりしているのは、兵士がさぼっている風景などをもって逆に痛目にあつたのかもかもしれない、一人合点した。

帰路の途中駅の牡丹江は、残留孤児の小説で有名。北海道でも6割は撤退したから、満蒙開拓はさらに厳しかったのだろう。帰りにハルビンの歴史的建造物の香坊駅に立ち寄り。上野駅みたいなところで、多くの乗客が降車した。タクシーに乗ると、運転席の前にスマホが立てかけてあり、次から次へとビッグアップの案内が来る。場所と確定料金が表示される。滴滴出行であった。

行きも帰りも中国機、しかも乗客の大半は中国人であり、日本人乗務員はいなかった。国内線だけでも日本の六倍の規模を誇っている中国の航空輸送量は、いずれアメリカを追い抜くに違いない。



松花江鉄橋



ハルビンロシア教会



ハルビン鉄道給水塔



黒龍江省綏芬河旧日本領事館



内モンゴル自治区満洲里ロシア国境

12月8日

小田急電鉄(株) 特別社友 利光 國夫

8月15日の終戦の日は毎年メディアが特集記事や特番を流し、靖国神社参拝の是非など世間は常に騒がしいが、問題の発端である昭和16年12月8日の開戦の日且つての「大詔奉戴日」がきて世間は殆んど無関心である。戦争や敗戦の悲劇については繰り返し語られて平和の尊さが強調されるが、平和と安全はいくら願っていてもそれで天から降ってくるというものではない。あの12月8日は何故到来したのか、それを考えることのほうがはるかに大切というべきだろう。

いわゆる東京裁判史観によって軍部、特に陸軍の暴走が支那事変の拡大から日米開戦へと繋がったというのが定説になっているもの、これは必ずしも正鵠を射ているとはいえない。支那事変の拡大と泥沼化の大きなきっかけとなった第二次上海事変への増派兵は海軍の要請によって行われたものであり、その責任者は海軍の米内光政である。

近年ルーズベルトの側近にコミンテルンのスパイがかな



樞密院軍部裁判官中庭の法廷内 写真: wikipedia

り存在して、蒋介石の浙江財閥から莫大な資金を得ていた反日差別主義者ルーズベルトの排日政策を推進した事実が解明されたつがあるが、支那事変の拡大はその恰好の口実となった。



呉海軍工廠で建造中の戦艦大和 写真: wikipedia

大正から昭和にかけて陸軍はソ連、海軍は米国を仮想敵国としてそれぞれ激しい国家予算の分捕り合戦を展開した結果、世界最大の巨大戦艦「大和」「武蔵」と強大な機動艦隊を擁した帝国海軍が、いざ日米戦争不可避の情勢に直面すると「海軍は米国と戦えるようにはなっておりません」と恥づかし気もなく主張したのは呆れる外はない。そのくせ戦略的に無意味な「真珠湾攻撃」をルーズベルトの策略に乗せられて行った結果、我が国の国際的評価を決定的に毀損した罪は極めて大きい。

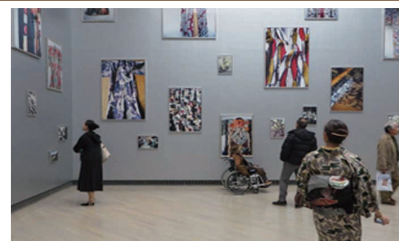
あの時に長年にわたって巨額の国費を消費しながら使命を果たせぬ責任を天下に詫びて、反戦トリオと美化されている米内光政、井上成美、山本五十六の三人が武人にふさわしく切腹した一般兵も、陸軍はもとより開戦熱に浮かされたマスコミも一般国民も少しは頭が冷えて、その後の歴史はかなり違う展開となっていたのではなかろうか。

NEW SPOT in Japan 66

石内都集大成

現代日本を代表する写真家、石内都さんが集大成の個展「石内都 肌理と写真(Grain and Image)」を横浜美術館で開いている。「肌理」は皮膚や物の表面の細かな形や模様。英文のGrainは穀物の粒、木や織りの目、肌、気質などを示し木目を通じ肌理細く滑らかな感覚や感触を意味する。石内さんは絹織物名産の桐生に生まれ横須賀で育ち、多摩美術大で染織を専攻のあと、絹・生糸輸出で発展した横浜で1975年実家に暗室を設け「染めるように織るように」感じて写真プリントを独学で始めた。絹や着物の微妙な肌触りに鋭敏な感覚を持ち続け、建物や風景、人の皮膚や衣類の遺品などの肌理に触れて、その傷や滲みに時の流れを感じ、時間の痕跡を写真(Image)に収めてきた。

展示は4章構成の約240点。最初の章「横濱」は失われる風景と記憶を印象に刻む。朽ち行く建物の外壁や内装、床や壁や扉の痕跡に迫る「Apartment」「連夜の街」「Bayside Courts」「互染荘」や自宅周辺の風景「金沢八景」など。2章「絹」は染め・織り・縫う・繕う多数の絹布の肌理を壁面にいっぱい展開する「絹の夢」「幼き衣へ」など。次章「Innocence」(無垢)は女性の体の傷跡を「生の証」と



石内写真展の第2章「絹」=みなとみらいの横浜美術館で

して精緻に映し出し「悲しみや苦しみを慰撫するよう静けさ」を表現する。最終章「遺されたもの」「ひろしま」は被爆者の衣服など。

石内さんは本名・藤倉陽子。母への強い思いが作者名に母の旧姓・石内と名前・都を名乗る。77年に初の個展「絶唱、横須賀ストーリー」。79年に写真集「APARTMENT」で木村伊兵衛賞を受賞。独自の感覚で始めた写真なので「自由な発想で」制作を続けられたと言う。このたび生活拠点を桐生へ戻し、染織文化の伝統を受け継ぎながら作風を展開を図る。3月4日まで。10-18時。同月3日は20時半まで。木曜休館だが1日は16時まで開館。 文・写真 林 祐祐